

厚生労働省科学研究事業「検査を受ける人を対象としたアンケート」結果
(平成24年度～平成28年度※)

※平成28年度は9月で事業が終了したため、9月までの集計である

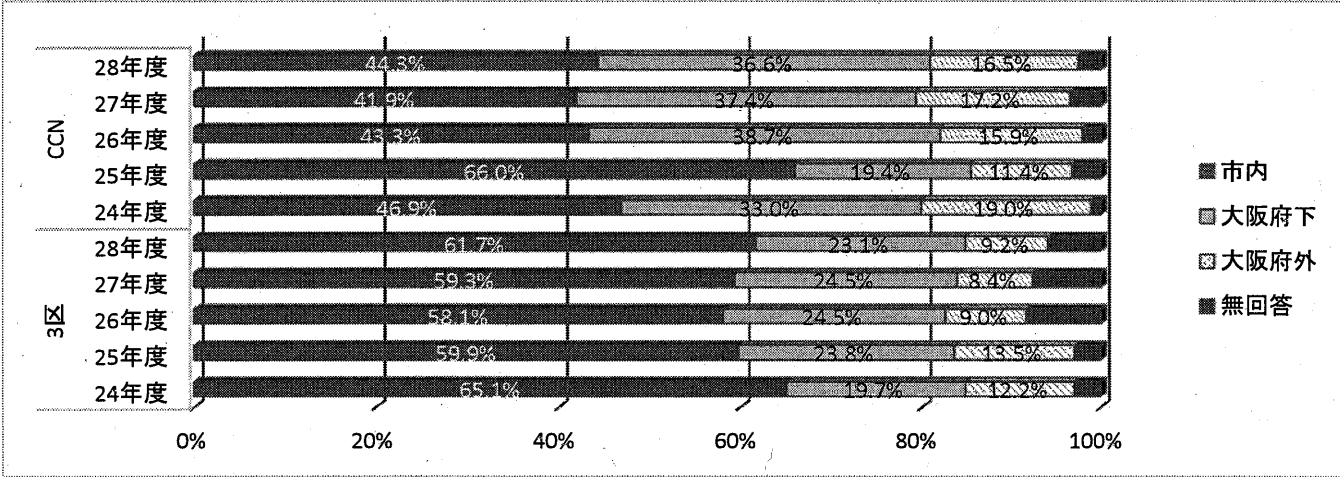
1. アンケート回収率

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
北区	68.6%	66.8%	51.7%	51.0%	70.7%
中央区	58.3%	83.4%	56.1%	43.4%	66.0%
淀川区	42.2%	37.7%	53.9%	24.3%	60.7%
CCN	98.3%	95.5%	96.9%	95.8%	94.7%

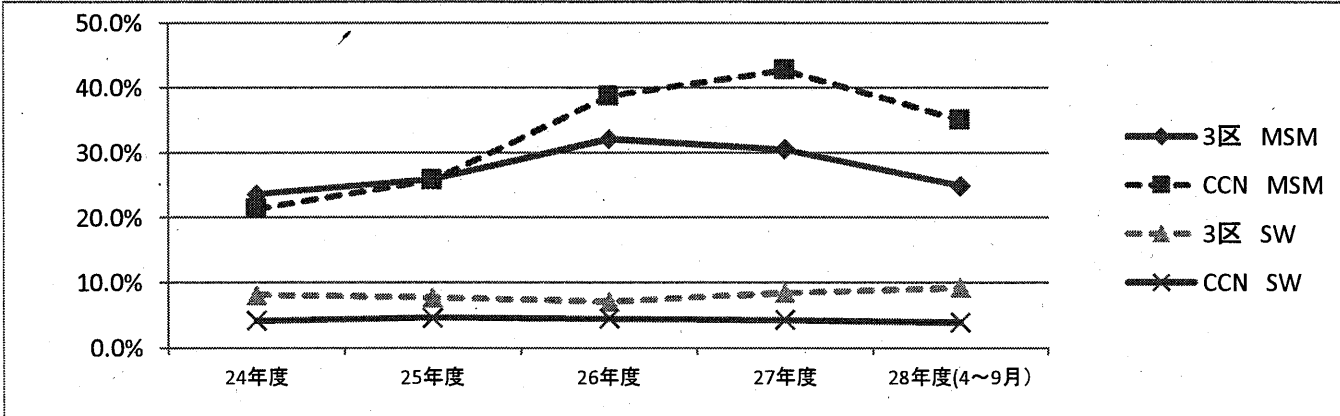
2. 回答者の属性【①性別】

	24年度		25年度		26年度			27年度			28年度		
	男	女	男	女	男	女	不明・その他	男	女	不明・その他	男	女	不明・その他
3区	1112	582	1830	900	1648	689	206	1294	553	166	1043	400	116
CCN	1538	707	4716	1978	4978	1883	138	4813	1779	240	2145	671	78
合計	2650	1289	6546	2878	6626	2572	344	6107	2332	406	3188	1071	194

2. 回答者の属性【②居住地】



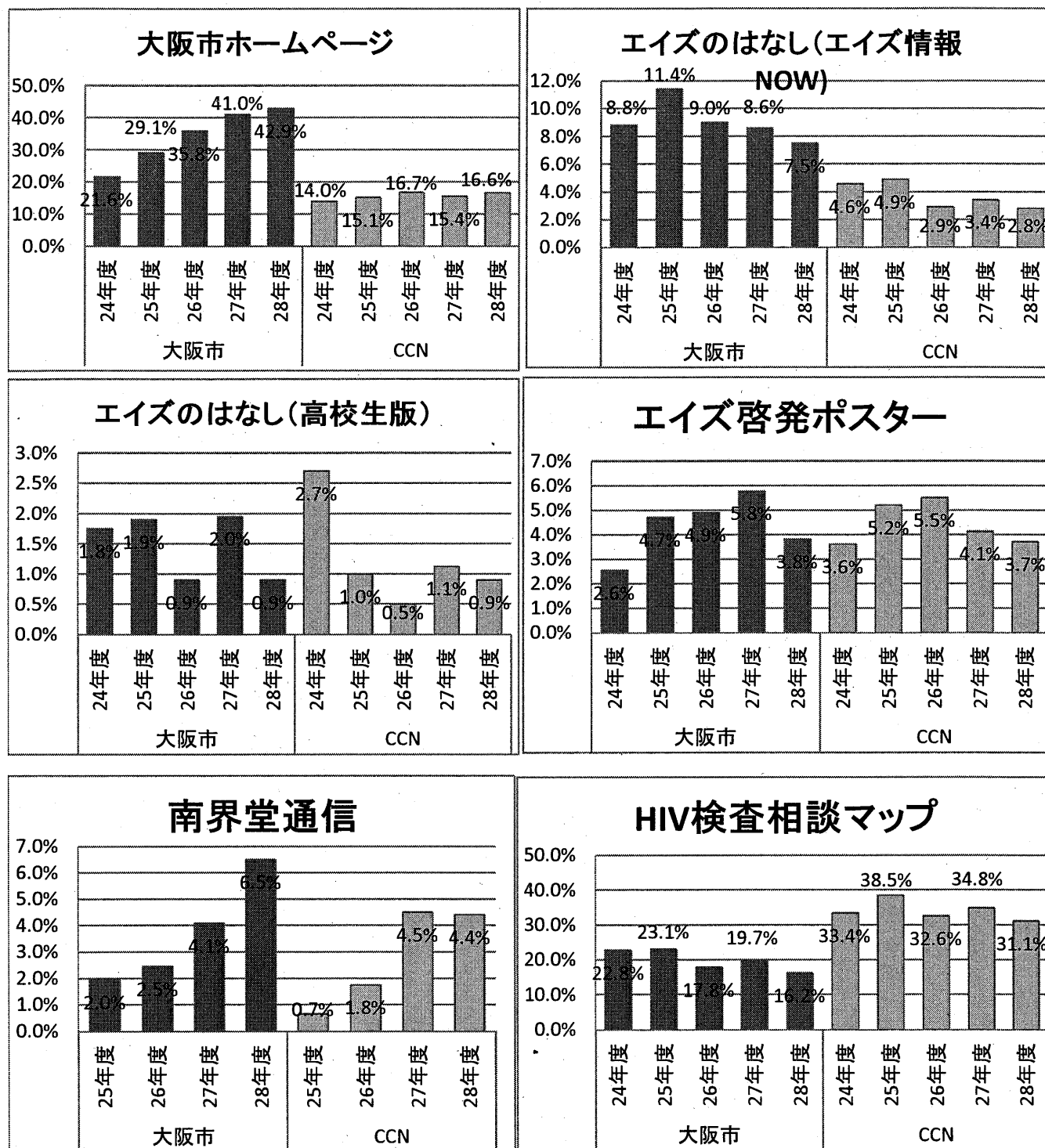
3. 個別施策層(MSM・CSW)の割合(経年) ※MSM: 受検男性中の割合を示す



4. HIVに関する正しい知識の正答率(平成28年度)

質問項目	3区	CCN	平均
(1) 通常検査では感染してから2～3カ月経過しないと感染しているかどうか分からない	69.6%	88.2%	78.9%
(2) HIV即日検査や郵送検査では検査結果を確認する為に再度検査が必要になる場合がある	63.4%	73.9%	68.7%
(3) HIV感染症は医療の進歩で服薬継続することでエイズ発症をコントロールできる病気になった	73.8%	85.3%	79.6%
(4) HIV予防にはコンドームが極めて有効	84.2%	92.5%	88.4%
(5) 性感染症に感染しているとHIVに感染しやすくなる	64.3%	68.8%	66.6%
平均正答率	71.1%	81.7%	76.4%

5. HIV検査を受ける前に目にした資料（※南界堂通信はMSMの受検者での割合）



6. 検査満足度(各項目のとても満足・やや満足割合) ※H25年度はアンケート項目なし

項目		24年度	26年度	27年度	28年度
(1)話し方	大阪市	91.7%	77.0%	81.7%	85.8%
	CCN	92.2%	91.4%	91.2%	92.8%
(2)質問しやすい雰囲気	大阪市	89.8%	76.1%	80.9%	85.1%
	CCN	90.8%	91.0%	88.7%	92.3%
(3)プライバシーの保護	大阪市	84.9%	71.5%	76.5%	80.4%
	CCN	87.3%	87.5%	85.7%	89.3%
(4)安心できる雰囲気	大阪市	88.2%	74.8%	80.1%	84.5%
	CCN	89.2%	89.9%	88.0%	91.4%